

1 年生代表

乙川中学校に入学して、不安なことがたくさんありました。中でも一番不安だったのは委員会です。僕は三役の代議員で議会委員を任されました。僕のイメージしていた議会委員会は、難しい議題をたくさん出す大人の集まる場所でした。最初は僕に務まるのか不安で、とても緊張しました。議会委員としての最初の委員会は、ドキドキしていて、他の一年生もどこかそわそわしているように見えました。実際、議会委員会では、僕の予想した通り難しい議題がたくさん出されました。しかし、2年生や3年生の先輩たちは、しっかり話を聞いて、まるで大人のように見えました。ついに、生徒総会で初めて役割をもらいました。間違えたらどうしようと言う不安でいっぱいでした。ところが先輩たちは、自分のやるべきことを理解し、ロイロノートの提出箱に手際よく提出していました。そんな姿を見て、改めて先輩方のすごさを実感しました。体育祭の大縄運営では、観察係をしました。飛ぶ人数の確認、回し手の確認などやる事はたくさんありました。先輩達と何度もリハーサルをしたおかげで、本番で役割を果たすことができ、乙川中学校の一員として動けたことに達成感を感じました。僕は議会委員としての活動を通して中学校は小学校と違うことを学びました。それは、先生に頼るのではなく、自分で考えて行動することやクラスや委員会の一人一人が役割をもち、その役割を果たす大切さです。これからは、先生に全て聞くのではなく、先輩たちのような自分で考えて行動できる大人になりたいです。